

多田智満子対談シリーズ ● 午後の対話 10

女神時代は 来るか

三枝和子〈作家〉VS 多田智満子〈詩人〉



「男が戦争をやってる限り、女神時代は来ませんね」三枝和子さん

三枝 ギリシヤでは飲まなかったんだけど、旅行のあとに東京チムだけ六本木の「バックス」へ集ってね、ギリシヤで飲めなかった分ここで飲めとばかりに、メタクサ飲んだの。ちよっと甘いけど美味しかったわよ。

多田 でも、メタクサってフランスのコニヤックのように洗練された味じゃない。やっぱりギリシヤはヨーロッパの田舎で、なんでも田舎臭いですね。ところで三枝さんはギリシヤのどこが一番印象的でした？

三枝 デルポイがすごく感動的でしたね。

今回は世界文明の根源であるギリシヤに造詣が深く、さる5月17〜26日、共にギリシヤ旅行に出かけられた両氏にギリシヤにまつわるお話を願った。

三枝和子版「王妃クリタイメストラ」

多田 三枝さんは例のメタクサってお酒飲まれました？

多田 あそこは丁度バルナツソスのふもとでしかも神域が広大で、いかにも「これから神託をー」って感じね。三枝 そうそう。それから例のオイディプスの三叉路も伝説だとしても実際に見ると感動するわね。あとミケナイも良かった。今回のギリシヤ旅行では、自分としては別質の世界観を獲得してきたって気がしますね。

多田 今まで抱いておられたギリシヤに対する固定観念みたいなものと実際のギリシヤと、どう違いました？
三枝 ギリシヤって男系社会ですよね。多田さんもその事を「ラ・メール」の創刊号にちらっと書いてらっしゃる。

多田 ええ。つまり人類と言えば男類という社会…。

三枝 そう。でもミケナイのような紀元前312千年頃を彷彿させる所へ行くと、男系社会になる以前にそこにあった女系社会を男たちが血みどろになって男系社会に変えていったその戦いの跡が見えるような気がして…。だからあんなに沢山の悲劇が書かれたんでしょうね。

多田 なるほどね。紀元前312千年位まではギリシヤはまだ女系社会で、女の権威というものがその巫女的能力と子供を生む能力とによって保たれていた。しかし女の巫女的能力は徐々に軽んじられ、男の祭司にとってかわられてゆく。それは一種の啓蒙であって、ある意味では人智の進歩かもしれませんが。

三枝 つまり動物社会は割合メス中心ですね。ところが



「男に生まれて良かったという考え方も排除すべきですね」多田智満子さん

人間社会が形成されていく段階で、我々人間は人間であって動物ではないという自覚を持って生きてきた結果現在のそのような社会になってしまった。しかし現在の我々の立場からそのプロセスを見ると、もう一度動物社会に返して考えてみなければならないことが沢山あると思うんですよ。そうして見直してみると色々面白いものが見えてくる。それは、今回私にとって大発見でした。

多田 それはすごい収穫でしたね。

三枝 ええ。実は今日ここへ来る前に富山県の利賀山房で早稲田小劇場の芝居「王妃クリタイメストラ」を観てきたんです。原典はアイスキュロスなんですが主宰の鈴木忠志さんが現在の日本社会のことも考慮して脚本を書いておられる。トロイア戦争の際にギリシヤ軍の総大将アガメムノンがトロイアを全滅させ戻って来ると妻のクリタイメストラはアイギストスとすでに通じていて帰ってきた夫を殺してしまふ。これを見た息子のオレステスが父の仇とばかり自分の母を殺す…。

多田 そのアガメムノンの凱旋した城がミケナイの城塞

ですね。確か原典ではオレステスは母殺しの罪で復讐の女神に迫いかけられ、アポロンの許へ行く。アポロンは男神で男性原理の体現者ですから父の仇を討ったのは立派なことだといってオレステスを許してやる。

三枝 でも母性原理の代表である復讐の女神はあくまで母殺しは最大の罪だと迫る。鈴木さんの芝居では最後、オレステスが復讐の女神に迫られ、姉のエレクトラに訴える。そこで近親相姦的なふんいきがあつて、その現場に再度母のクリタイメストラが現われ、二人の子を殺す、という風に終わるん

です。これはあくまで鈴木さんの解釈で女として異論のあるところですが。でも父の仇を討つという形で彼らが男性に有利な社会をうちたてようとする努力がうかがわれて面白かったですよ。我々が今、女性のために頑張ろうとしているのと同じような事を彼らも紀元前400年頃に必死でやっていたんだと思うとね。でもあの脚本を私が今風に書くなら、母親に「おまえは父の仇を討ったと言っているが、おまえの本当の父親はアガメムノンかどうか分らないんだよ」って言わせたいですね(笑)。

三枝 それはいい(笑)。クリタイメストラは貞節な女ではないのですもの。

三枝 そうなの。父親がアガメムノンだって証拠は何もない。その証拠がないものを基準にして、一番証拠がある生みの親である私を殺すのねって開き直ると面白いと思ったんですよ(笑)。男の人ってそこまで思いつかない。アイスキュロスも思いついてないのよね。

多田 それは、ぜひやるべきですよ。

文化にも寿命がある

三枝 ところであのトロイア戦争の頃はもう男系社会でしたよね。

多田 そうですね。つまり戦士の英雄の時代はもう男の世界です。女は非戦闘員だから出る幕がないし相手にされない。

三枝 動物でも一つの群れだけで社会が成り立っているとか割合母性原理は働くんですが。他所の群れをたたき潰



へと発展してゆく…。

しに行くという風に社会が発達していくとオスが行かないといけない。それで女系社会から男系社会へ移ってしまった。ところでもう一つギリシャへ行ってつくづく感じたのは文化は必ず滅びるんだってことなの。

多田 そうねえ。エジプトやギリシャへ行くと、どうして昔はあんなに優秀な人達がいたんだろうかと思えます。

三枝 文化にも生き物みたいに寿命があるんでしょ。ギリシャを案内して頂いて感じたことは必ず地震か戦争かで文化が滅びていますね。男系社会になって戦争やりだしたら文化が滅びちゃう。日本文化も戦争に敗れたから、ひよっとすると滅びていくかもしれない。よく伝承の形態がなくなると文化も滅びると言われるでしょ。

多田 今の日本の社会って、伝承がなくなりつつあるんですよ。親ゆずりの技術などを身につけようとせず、皆が大学へ行行って、普通のサラリーマンになっちゃいます。

三枝 そうなった原因はやはり戦争に負けたことだと思うんです。ギリシャ時代の戦争の形態だったら敗戦国の男は皆殺しにあってますから、今日の日本の男は生きてはいませんが権威が失くなったからこの世にいないのも同然(笑)。

多田 なるほどね。

三枝 でも、ギリシャ固有の文化は滅びてしまったけれど、滅びるという形で他所の国に浸透していった。

多田 紀元前5世紀頃の古典最盛期にギリシャの力は一番高まり、それが傾きはじめてヘレニズム期になる。だからギリシャは滅んでいくけれど、ヘレニズム文化という形でヨーロッパに大影響を及ぼすんですよ。

三枝 そう。日本もなかなかいい文化を形成しているでしょ。それが今、滅びつつある状態の中で拡散していると思うんですよ。今後は欧米文化が日本文化を吸収していく…。だから△滅ぶ▽って悪い意味で言ってるんではないんです。先ほど言ったように寿命だって気がしてね。

多田 日本文化が日本人の所有でなくなり、どこか他の世界へ流れていくってことは大いにありうる…。

三枝 それで自国の文化だったものが他所で発展する。



話題は女性文化のこと

するとね、残された民族って残りカスみたいな状態で生きていくんですよ。ギリシャへ行くとね、文化を築いてきたはずの男の人たちが本当に無気力なの。

多田 そうそう。真つ昼間からボーッとしてコーヒー飲んでる。

三枝 女の人は日常的に働かないと仕方ないから畑仕事なんかしてる。ともかく自国の固有の文化がなくなると男はもうだめなんじゃないかと思うんです。恐らく500年もたないうちに――まあ世界が核で全滅しないという前提の話ですが――日本の男は今のギリシャの男みたいにコーヒー飲んでボーッとしてるかもしれないね(笑)

多田 働きバチだった男たちがそろそろシラケはじめたってことは、その前兆かもしれませんね。

三枝 しかしこれまでずっと文化を創り、育ててきたのは皆男性であって、女性文化っていうのはまだできていない。女性文化ってできるかどうか分かりません。

多田 古代的な女性文化っていうのはもうとり戻しようがない。ああいう大地女神の呪術的な力による女の權威は二度と回復しませんから、他の方法を考えないと(笑)

女性文化は自然にそって創られる

三枝 この間、知人で猿の研究をしている人が面白いことをいっていた。ハグレザルVが、文化とはいわなかったけど文学のも、だった。とにかくハグレザルとか、ボスに全部メスを取られてションボリしてるオスザルが考え込んでいるとね、あそこから文学は生まれたんだなあーと思ったというわけです。

多田 エレジーとか哲学的瞑想とかいうのはハグレザルからの発想なわけですね。

三枝 ええ。女性の場合は相手を蹴落して自分が残って……というわけにいかないでしょ。つまり数の問題で、女の人はその性からいって1人残るわけにいかない。1人で100人の男を相手にできないし、どれだけ子供を生んだとしても限られてる。生物学的にいうとメスはハグレないようにできているんだと思いますよ。だからハグレるのはオスだというのが自然ですよ。ハグレなるとかっていう風に発想していくと、それは男の文化形態になります。ハグレない者がなおかつ文化を創る状態になると女の文化ができてくるかもしれない。

多田 ハグレる所から文化が生じるなら、ハグレないと困るわけ。

三枝 でもそれは男が言ったことで、男の文化形態です。でも違う文化ならハグレない形で何かできてると思うんですよ。男の創ったような形の文化とは全く違った文化がね。今は皆、男の創った文化圏内にいるけれど、少しずつ別の発想が始まっているんじゃないかしら？

多田 そうかもしれませんね。ギリシャ神話では最初カオスがあり、そこからまずガイアという大地女神が生まれる。ガイアは男神ウラノスを生み、ガイアとウラノスとが交って色んな神々が生まれる。でもガイアは必ずしも自分の配偶者を必要としない。1人でも生めるんです。そういう話を紀元前7世紀頃、叙事詩人のヘシオドスが語っている。ところがヘシオドスは既に男系社会の人間だからゼウスという大家父長を頂点とする社会のヒエラルキーをたてないといけないので、大分無理をして辻褄を合わせている。

三枝 それに大地女神の素朴な彫像などを見ますと、私たちはその足元辺りにちよこつとまつわりついているだけ。ああ、これが本来のものなんだなと思いましたね。

多田 神殿の跡など見ましても、もともと女神の神域だったのが、皆、男神に乗っ取られている。

三枝 とにかく男が群れ同士で戦争をやっている限り、

女神時代は来ない。でも今や、ついにどちらの群れも滅びてしまふ武器を振り上げてしまった。核です。だから男の人達はヤバイと思ってるはずですよ。それでもし群れ同士争わなくなると、女神時代はくるかもしれません。

多田 私、人間の文明や文化は、当然のこととして非常に矛盾をはらんでいると思うんですよ。例えば今や地球は人口過剰で土地がどんどん食い荒されていく。ギリシヤなんてひどいものでした。その原因のひとつは医学の進歩です。医学のおかげで自然淘汰がされにくくなる。だから文化って良し悪しだと思いますね。そうして弱い者も皆生き残ったりするから人口過剰になる、なんて言うヒューマニズムに反するって叱られそうだけど。

三枝 でもヒューマニズムはもとは男がつくったものですよ。それは弱くても生き残りたいっていう男の願いなんです。弱い男性が大部分だったわけですからね。でもこれだけ文化が発達して人間の数が増えてきたら、もう戦争以外に人口を減らす方法はないですね。

多田 そういう考えは大昔からあってね、トロイヤ戦争も、地上に人間が増えすぎたからこの辺で戦争を起してはいかが、という掟の女神テミスの深遠なる助言に基いてゼウスが起したものです。

三枝 そう、そういう発想は女性のもですよ。例えば丈夫でない子を殺したり、多すぎれば間引いたりというのは女の叡知です。男が武器を振って相手と倒すこと、つまり戦うものとしての文化を創ってきたとすれば、女はそういう自然淘汰を自分の家族の中とかで自覚的、或いは無自覚的に行ってきた。だから「世界、人口過剰であるから、そろそろ戦争を……」って女神が考えたとしてもおかしくないわけです。うちの猫でも5匹子供を生んでも自然に2匹位死んでしまふ。弱くて死ぬのもありますが大抵うまく育てられなくて死ぬ。でもそれが自然なんだと思うんですよ。

多田 人間でも生まれただけ皆育つていうのは非常に

不自然なことですね。

三枝 それで今、こうした不自然な状態の中から自然な状態をどういう形で獲得しようかという問題がある。子供を2人にしようとかね。不自然だけど医学の進歩を逆手にとらないと仕方ないわけです。

多田 しかし、そういう風にしていたら体質はどんどん弱くなる。昔は例えば5人生んで、その中の強いのが2人なら2人生き残った。でも今は始めから2人しか生まないものだから、その中には非常に弱いのが混っている。

三枝 人間が勝手な淘汰をしているんです。そんな形で生き残った者が文化を創ることになる。私、性としては女の方が頭も体も平均的に男より上だと思うんです。でもアンシャンレジュームの意識で育っている男の人は男こそ生まれながら優秀だと錯覚している。

多田 そう言えば紀元前6、7世紀のタレスというギリシヤの賢人が「動物でなく人間に生まれて良かった。女でなく男に生まれて良かった」と言ってる。仏教では「たまたま受け難き人身をうけ……」と言われますが、人間にその中でも特に男に生まれたことは今までの社会では非常に幸福なんです。

三枝 その「たまたま受け難き……」っていうのは男の発想なんです。そうでなくて「たまたま人間に生まれ……たまたま猫に生まれ……」って思うべきなんです。人間に生まれて幸福、男に生まれて幸福と思っているのは、どこかまちがっている。

多田 屈託なく暮らしている猫の方が余程幸せかもしれない。大体文化って限りなく自然から逸脱していくものだから、自然に近いほど程度が低い、となってる。

三枝 そう、その自然からの逸脱が男文化なら、女の文化は猫や犬と一緒に自然にそって創られるんじゃないかと思えますよ。皆、人間は上だと思っているところがありませんけれど、原点に返せば衆生と言って皆同じですよ。

△シエ・ラ・メールにしむらにて▽



ムサシ

本店
三宮・センター街 TEL 321-0634
11:00AM-7:30PM 毎水曜日休み
さんプラザ店
三宮・さんプラザB1 TEL 391-2427
11:10AM-8:00PM 毎月曜日休み

いつも真心をこめて



見知らぬ土地で、見知らぬ人との出会い。
そして、心のふれあい。いつまでも残る旅の
思い出……。

楽しい旅のプランづくりをお手伝い致します。
ハネムーン、家族旅行、グループ旅行など、
海外、国内旅行のご相談は(株)MOAコー
ベッツーリストへ。

兵庫県登録第134号・日本国有鉄道団体取扱店

(株)MOA コーベッツーリスト

〒650 神戸市中央区元町通7-1-6

TEL 078(371) 0080 (代)

れんさい小説(2)

霧の朝

福岡勝利

絵／辻 司



「ウチは学歴で左右せえへん会社やもんで、もしこのなかに大卒の人がおってやね、その学歴で有利になるかもしれないって考えてはる人がおったら、そういう期待にはこ

たえられんもんで、どうぞ帰ってくださいってけっこうですんで、大卒いうたってなんのプラスにもならんもんで、中卒も大卒もウチではまったく関係ありません

から……」

「そこそと立ちあがった者が三人いる。すばやく会場から出ていった。」

黒板の前に立っている男は、腹を立てたような顔になった。態度がよけい横柄になる。声も大きくなる。

「大卒いうたってね、仕事さしたってなんもできやしませんで、頭ばかりでかくなってやね、半人前にもなられへん」

そんなことないでっせ、とは誰も言わない。会場はしんとしている。黒板の前の男だけがさかんにしゃべりまくっている。大卒者をばかにする話ばかりだ。大卒者をあぶり出す作戦だろうか。それとも個人的にうらみがあるのか。男の話にうなづいてばかりの者が前の方に数人いる。真ん中からうしろの方は、ただ前を向いているだけで、なんの反応もしめさない。

ぼくは時間ギリギリでこの会場にとびこんだので、席はいちばんうしろの端である。受験生は五十人くらいだ。このうち何人雇ってくれるのかしらんが、もうまくいけば、大阪を出て、寮生活だ。

うちを出る。父や正夫のぼくを見るいやな目つき、いかげんでまずしい食事、母の周期的なヒステリーなんかから逃げ出せる。工場のやかましき、町にたまたま妙なおい、町にたむろする疲れきったおっさん、遠慮もなくうちのなかをのぞきにくるおばはん、水くれまぜんかねとほざきやがるこぎたねえ土方たちからおさらばだ。

この会社にはなんとかもぐりこみたかった。仕事は、新聞の求人欄には、自動車部品の組立とあったが、まあ誰にでもできるかんたんなものだろう。会社の場所は三重県鈴鹿。行ったことはないが、鶴見区の町よりはましなところだろう。四月から勤務とあった。あと一カ月だ。給料とか勤務時間にも大きなうそはないはずだ。ぼくでも知ってる名前の会社だから。

服装で落とされなくなかったから、セーターのうえに

黄土色のブレザーを着ていた。このブレザーは、この受験のために買ったのだ。いちばん地味なやつ、いかにも労働者向けというやつを選んだ。

みんなはいろいろな服装をしている。入社試験というと、たいていどこでも背広か学生服の連中があつまるものだが、そういうのはこの会場には半分もない。思い思いの格好だ。今からゲームセンターかパチンコへも行こうかという、かなり派手な身なりの野郎もいる。

ぼくは二週間ほど前に、ある新聞社の入社試験に行ってきたが、そこでは、ぼくのほかは全員が背広姿だった。仕事は、新聞の印刷とか発送である。どうあがいても取材に走って記事を書くという仕事はできませんと説明があった。それはいいのだが、それにしても、条件のよくない職場の求人、背広ばかりの連中がよくもまあどつとあつまるもんだとおどろいた。真新しい背広。わずかの乱れなんぞ絶対にならないというような表情。まるでこれからトルコに出かけるような集団に見えた。ぼくはセーター姿で試験を受けた。そのためかどうか、一発で落ちた。一次の筆記試験はよくできたはずなのに、二次の面接は受けられなかった。百人くらいが来ていて、一次で落ちたのは十人ほどだ。ぼくはそのとき、この新聞だけはこれから絶対に読むまいと思ったものだ。さて、ぼくは今、予備校の教室にいる。予備校というと、一生かわりはなからうと思っていた場所である。なかはどんな具合になっているのか、知らずに一生を終えそうだったので、足を踏み入れるとき、いささか緊張した。

たいしたことはない。高校のときの教室と同じだ。机やイスが新しくくらいである。今日は日曜なので、学生やなんかはいないが、ふだんの日は、この教室はとにかくどこかの大学に入らねばならん連中の熱気である程度はむせかえるのだろう。今は、大学をくそみそにきおろす二十代後半の男と、なんでもええわ早いとこ試験でもなんでもおっぱじめてくれと言わんばかりの野郎たち

でしめられている。

野郎たち。女はひとりもない。男子従業員の募集だから当然だが、ひとりかふたりくらい、なんかの間違いで、いや、女子も雇いなさいとのりこんでくるような女はいなかったのか。

ぼくはいちおう本工としてのつとめを持っている。うちから自転車で十分くらいのところにある鉄製遊具の製作所だ。新聞に折りこみの求人チラシがきつかけだった。それには女子社員募集とあった。男なんですけどかまいせんかね、と電話すると、すぐ来てほしい、と言われ、話はどうどんすすみ、次の日から正式に働くようになった。女子募集だからといって、あきらめてしまわんでもいい。なんとかなることもあるのだと思った。ところで、かたんに入っただけあって、ひどい職場である。休みは日曜だけ。給料は一カ月六万円にもならない。そしてその給料の支払いがたびたびおくれる。ボinasは夏冬あわせて十五万ほど。ひとりずつ課長の前に立たされ、ながながと説教を聞かされ、自分のお金をくれてやるようなむっとした顔で給料袋が渡される。たいたお金じゃないのに。それでも、あるだけましな方か。仕事はジャングルジムとかブランコなんかをつくて、それを幼稚園などに運び、設置するというものだ。ぼくは営業マンの助手としてもっぱら運搬と設置をやっている。運動場に穴を掘るとセメント練りはぼくの専門である。専門だからちゃんとやってるかというとそうでもない。どれだけ時間がかかろうと残業の手当は出ないので、早く済ませるために、いいかげんになることもある。きのうは堺の方の保育園に、ブランコとすべり台と鉄棒がいっしょになった、ウルトラユニットスーパーサークルというのを据えつけてきた。あれもかなりのやつつけ仕事だった。トラックで運ぶだけで、昼すぎまでかかった。日曜も仕事をする覚悟なら、ゆっくりしていねいにやるんだけど、なんでそんな奉仕活動なんかができるようか。ばたばたと、倉庫係のおっさんらも加わっ

て、六時ごろまでかかって、でっちあげた。あした、園児らがわつとどびついたとき、そのウルトラユニットスーパーサークルはひっくり返らんדרうか。ぼくの感じでは、まあ五分五分、なんとかだいじょうぶだろうと思っているが。

「えー、では待遇面の説明をいたします」

その声に受験者の姿勢は前のめりになる。

「給与は二十歳の人で九万五千円。昇給は四月。学歴にはまったく関係しませんので。賞与は二十六歳の人で九十万八百円」

おお、と受験者のほとんどがぐもった声を出す。ぼくもつられて、ほお、と言ってしまった。九十万というのはすごい。ぼくは二十一歳だから、なんぼなんでも五六十万ぐらひはもらえるはずだ。

「みなさんの職種は……」

男はお金のことについてはかるくながすだけのようである。もつと、たとえば手当のこととか、退職金はどのくらいあるかと知りたいのだが。男は片手に持った一枚の紙切れを見ながらたんとと、ちよつとあせり気味で言う。

「溶接、組立、プレス、鑄造、塗装とありまして、配属は会社の一任になります。そのあとみなさんの努力、会社にどれだけ貢献したかによって、ほかの部門に配転できるようになっております」

貢献とか配転なんかどうでもいい。雇ってくれさえすればそれでいい。九十万。九十万だ。津村順子の姿がとつぜん目の前にうかぶ。黒のミニスカート、身長を二十センチほどごまかせそうなハイヒール、スウェードの長そでシャツのうえにぐんじよう色の穴あきジャケツトという、いつものいでたちであらわれる。猫さんのたくさん飼えるところで住めたらいいわねえ。痰がからんでるような、ドスのきいた声で順子は言う。ぼくはすかさず、まかしなさい、と胃のあたりをたたく。猫でもタコでもなんぼでも住めるうちを建てます。ぶひつと順子は笑い

出す。タコやのうて犬でしょう。あ、そうそう、犬さん。そやけど、えらい大見栄切るんやねえ、ウチ建てるやなんて。しまった、とぼくは思う。大ぼらふきは父の真似ではないか。がんばってや、と順子はぼくの背中を



たく。手のひらでちからいっぱい。そうして、ぎくしやくとした歩き方で順子は去る。発情期でえすと世間に宣伝するような、恐竜のたまごみたいにふくらんだおしりを、せわしくふるわせながら。

もちろんこういう会話はしたことがない。妄想である。順子にはまともに声をかけたことがない。営業マンや倉庫のおっさんたちは、ようホステス、と気軽に声をかけるが、ぼくにはできない。順子は十九歳だ。そんな女性に、おはようマダム、なんて言えますか。目が会えば、やあ、ぐらいい言う。今のところ、それぐらいである。

真つ赤なくちびる、青黒い目のふち、黄色のちよつとまじった茶色のライオンヘア。順子はこつてりと首からうえを着色してくる。つけた会社の事務係なんかでいるのがもったいないほどだ。一日にどれだけ化粧のために時間をさくのだろうか。

高校生のとき、ぼくは同級生の女の子の部屋をのぞいたことがある。小学生の使うような学習机があった。その机の真ん中に鏡があり、そのまわりは山のように、ごみめのように化粧品のつぼがあった。口紅だけで百二十本以上あるということだった。ひまさえあれば、自分の顔をカンパスにしているらしかった。

順子もうちに帰れば、まず自分の顔を点検するのもかもしれない。朝起きてまずやることは、鏡に自分の顔を近づけて乳液をべたべた塗りたくることか。からだじゅうに線香の、いや、ラベンダーのにおいをする香水をふりかけることか。

ともかく、おっさんおばはんばかりのなかで、順子ははっきり目立っている。若いだけできわだつのに、化粧が極彩色だから、なおさらだ。三十人ほどの社員で、二十代というと、ぼくと、数人の営業マンだけなのだ。

順子は総務の方で仕事をやっている。ぼくは、トラックに乗ってないときは、倉庫で発送の準備とか鉄骨の荷受け、その鉄骨にさび止めの塗料を塗ったりなんかして

いるので、順子とはそうたびたび目が合わない。総務は営業部といっしよの社屋で冷暖房完備だ。となりの、ほこりだらけで、ペンキや火花が気まま放題にとんでくる、ぼうつとしてたら鉄柱の下敷きになってしまいうような、冷暖房不備の倉庫へは、順子はなかなかやってこない。

来てほしい気持ちはある。来てほしくない気持ちもある。鉄骨にペンキの吹き付けなんかやってるのを順子に見られたくない。タオルで頬かぶりをし、だぶだぶで絵の具だらけの作業服、真つ黒の軍手で、六十すぎのおっさんらと鉄柱を運んでいるところを見られたくなかった。

おまけに家族と同居。やっぱり、ひとり暮らしでなくちゃだめだ。高校生のときに知りあった人は、ひとり住まいだった。だから、ぼくはその人と好き勝手な、若気のなせるままのつきあいができたのである。その人は高校を出るといなかに帰ってしまい、すぐ結婚した。次の年その人から、最後と思われる年賀状が来た。裏はだんなとふたりの写真だった。その人は完全に所帯染みたおばさんみたいになっていた。ここは景色のよいところでもうじき子どもができます、近くまで来られましたら寄ってください、とあった。

会ってみてなんだというのだ。もうその人のことはどうでもいい。今は順子をなんとかしたい。順子をアパートに誘いこむ。男と女のつきあいはそれからである。しかし、ぼくは三重県鈴鹿の会社に入るための試験を受けている。受かれば、順子とは別れ別れだ。それでも順子を鈴鹿に呼ぶようなことになれば、猫がいくらでも飼える家を建てますよ、なんて言っちゃえば、遊びでは済まなくなる。ぼくは自分の気持ちをためそうとしているのか。二十一にもなると、分別くさくなる。思いついたことができなくなる。ぼくは順子から逃げようとしているのか。どうして、大阪でアパートを借り、順子をひっぱりこむことができないのか。

順子とはだめか。オカマがやるような化粧やみじかい足を思いうかべてる方がいいのかもしれない。女に誘われ

て、その女の言いなりになっちゃうのは楽だったけれども、こちらから働きかけるとなると、しんどいもんだ。見込みがあるんなら、そのしんどさも我慢するけど、どうもむくわれない気がする。順子は見かけは遊び人みただが、内面はあんがい保守的かもしれない。

順子とはだめだ。決めた。いきなりとびついてやれという気持ちはあったけど、やめた。この試験に全力を尽くそう。そして、順子とはオサラバだ。何もなかったけど、その方がよかったかもしれない。そのかわり、鈴鹿に行ったら、好きなことをしてやる。寮なんかすぐに出てやる。女遊びに精を出す。九十万。九十万だ。金ならある。一般教養の試験用紙がくばられてきた。教室の前とうしろには、見張りのためか、貫禄のある中年男がずらりとならんだ。黒板の前に立っていた男は、仕事がなくなくなったためか、いなくなった。教室の空気が、ずうんと重くなった。だらしな性格の連中も、いすにふかくこしかけ、さあやるぞという構えを見せた。

はじめてください、と誰かが言った。ぼくは問題の活字を見ていった。内容が頭に入っていない。順子やいろいろな女の顔が目の前にちらつくのだ。みだらな想像がさかんに、頭の中にわき起こる。厳肅な場にいるのに、気持ちがへんなものになっていく。もじもじしていたためか、ぼくのそばには何回も中年男が往復した。

午後四時ごろ家に帰った。父と正夫は仕事だし、母もパートに出かけている。すこし早いけど風呂に行こうかと思った。電話が鳴った。なんと津村順子からだった。「何回も電話したんやけど、出えへんねえ。どっか行っとなったん」

「ええ、ちょっと」

順子が電話をかけてくるなんて、はじめてのことだ。こちらからかけたこともない。

「な、なんです。なんかあったんですか」

「あのねえ。あんたとこ、犬飼えるかしら」

「へ。犬。どうしてです」

(つづく)

京料理のゆかしさ趣きを 芦屋 **わらびの里** で



一階はお座敷と茶席、二階はステンドグラスのお部屋。静かなたたずまいの中で季節感あふれる京の味をお楽しみください。

〈松花堂/3,500円、京懷石/5,000円・8,000円、おまかせ/1万円より〉

京料理

芦屋店

わらびの里

芦屋・打出小槌町30

TEL (0797) 23・5666

営業時間 午前11時～午後10時

〈駐車場有り〉

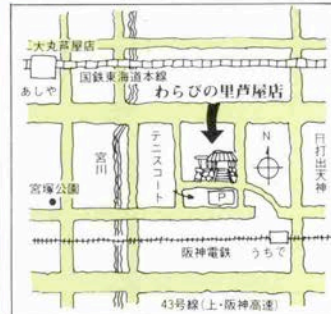
京都本店・京都市山科区小山中島町28 ☎ (075) 591・0911

新宿店・東京都新宿区西新宿2の4の1 新宿NSビル1F

☎ (03) 349・8789

芦屋婦人会々長他数多くの役職で毎日多忙な広瀬夫人が、同じトーストミストレスクラブの白江夫人と芦屋女子高等学校翠樹会で同期の山村夫人を誘ってお食事に。海外へもよく行かれる皆さんですが、やはり日本料理が一番のご馳走です。

左より 白江圭頼子
広瀬 忠子
山村つね子の皆さん



日曜大工がお店作りにも生かされています



氷室さん(右)とブリコの鈴木支配人。手前は料理のネタを置く台、14種類のネタが並べられる
 炉ばた焼「たらちね」 氷室 福敏さん

国鉄六甲道駅高架下の名物炉ばた焼「たらちね」のご主人、氷室福敏さんは日曜大工歴が約30年。開店してから3年の間に、日本酒の一升びんが約40本も並べられる棚や料理のネタ置きなど、仕事の合い間にコツコツと制作を続けて、今では店内は氷室さんのオリジナルでいっぱい。

「棚や調理場まわりなど、全部が必要にせまられて作ったものばかりです。大工さんに頼んでも、なかなか思ったとおりのものができません。それなら自分で工夫しようと、すぐ近くのブリコへ何かいいものはないかと材料さがしに行くようになりました」パイプ材を利用した洗い場の食器棚や鍋敷、徳利置きなどアイデアも大工の腕も本格派の氷室さんです。



植木の品名札を利用したお品書き



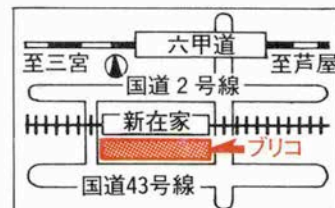
スペースを有効利用した徳利置き



ホームセンター

ブリコ
Brico

阪神新在家駅南 午前10時～午後6時30分
 ☎078(851)4391 第3水曜日定休



60台収容の無料大駐車場完備

神戸のうまいもんとドリンクング

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
中央区旗保通7-1 ☎ 231-6300 トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306 住吉店 ☎ 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階 ☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCBビル2F ☎ 331-0494

料亭布引大し
中央区熊内町4-8-19 ☎ 221-1945

たこ焼たちばな
三宮センター街(旧柳筋) ☎ 331-0572

民芸御食事処 炭焼ステーキ 五事
元町3丁目山側 ☎ 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本
中央区中山手通2-3-20 (生田警察署西口前) ☎ 331-5817・392-2020

山菜料理 六段
国鉄三宮駅山側 ☎ 231-0406

欧風焼鳥トリドリ
中央区下山手通2-12-21 生田シリアルビル ☎ 391-3028

モバ 手打ちうどん 木曾路
フラワーロード市役所前KEビルB F ☎ 231-1295

鮎花銀
中央区二宮町3-10-16 ☎ 222-2323

どじょう 吾作
中央区元町通2-7-20 ☎ 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ 三十三間堂
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

割烹銀座
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

甘党とめ ばさら茶屋
阪急三宮西口山側レインボープラザ1F ☎ 321-6363

★各国料理

レストラン グリル アコ
中央区生田町1-4-20 ☎ 242-2020(F)

レストラン 鹿鹿皮〈あらかわ〉
中央区中山手通2-15-8 ☎ 221-8547・231-3315

ステーキハウス グリル青山
中央区下山手通2-14-5 (トアロード) ☎ 391-4858

スナックピザ料理 と世界の民族音楽の店 ゴックスタッド
中央区山本通3-1-2 回教寺院前 ☎ 242-0131

他 蘭西料理 果林
神戸プラザホテル2F(元町駅南) ☎ 331-4558

すていきハウス 長崎
神戸市中央区布引町2-3-16 ☎ 221-1086

メキシコ小料理亭 ティファアーナ
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F ☎ 242-0043

ピザ・パブ ピザ・パテオ
中央区元町通1-10-4 (元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ビストロドゥリオン
中央区山本通2-13-6 ☎ 221-2727

レストラン 麻布キャンティ
中央区北野町4-1-12 異人館倶楽部 ☎ 222-5380

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード市役所前 ☎ 251-2109

ボリネシア料理 海賊焼 海賊焼
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
中央区栄町通1-2-14 ☎ 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA Beer House
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
三宮・生田新道 ☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ
三宮・トアロード(パルクスタビルB1) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭
中央区下山手通2-5-5 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
中央区元町通3-8-4 ☎ 331-2108

レストラン フック神戸店
中央区栄町通2-9-11 ☎ 321-3453

ステーキハウス 神戸館
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F ☎ 321-2955

サンパト プラジール料理 コバカバーナ
中央区中山手通2-1-13 ☎ 332-6694・6697

ドイツレストラン ハイデルベルク
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

シルクロード料理 スパイスレストラン ぶはら
三宮町2-3-9 タキビル2F ☎ 331-1734

The ghill BOB(ボブ) トアロード西山側
中央区北長狭通3-1-2 ファーストパブ2F ☎ 392-2500

あより 和黒〈わっくく〉
中央区中山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F ☎ 222-0678

炭やきステーキ 凱旋門
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F ☎ 392-3655

スコッチ & ローストビーフ ガスライト
神戸ワシントンホテル9F ☎ 331-6111

フライング エル・ヴィノ
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F ☎ 241-1344

中国料理 萬壽殿
中央区中山手2-20-4 ☎ 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ
中央区中山手通2-3-7 第2穴門亭ビル1F ☎ 392-1251

北イタリア料理 ベルゲン
中央区山本通2-3-2 ☎ 241-6952

炭焼ステーキ スターキハウス 水野
中山手通1-32-5 ベンシルビル1F ☎ 241-7500

炭火焼肉 キムズギャラリー
中央区中山手通2-3-19 ロータリーマンション中山手1F ☎ 332-2900

ステーキハウス イ藤
中央区開通7-1-20 大信ビル8F ☎ 232-3031

★喫茶

コーヒーラウンジ City of City
中央区三宮町3-9-1 ☎ 331-1117

ティ・&スナック エボック
中央区元町通3-8-8 (浜側) ☎ 331-3694

喫茶 ガーデニア
中央区東町113-1 大神ビル1F ☎ 321-5114

喫茶 カフェ・ド・ガーデニア
中央区三宮町3-8 大和ビル ☎ 392-4004

LE CAFE ガレ
中央区山本通2-3-14 ☎ 242-7144

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・中央区中山手通1-26-3 ☎ 221-1872・231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側 ☎ 241-2777
センター街店・中央区三宮町10-27 ☎ 391-0669

北野店・山本通2-1-20 ☎ 242-2467
(会 員 制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックスステージ
中央区三宮町1 サンプラザ10Fサンロイヤル ☎ 332-0230

珈琲 モーツアルト
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F ☎ 241-3961

サンドイッチハウス ココアココ
中央区加納町4-7-11 ☎ 392-4031

珈琲 ん
中央区三宮町2-9-6 (トアロード) ☎ 391-1589

喫茶 英屋
神戸国際会館浜側 ☎ 251-4562

喫茶 葡屋
三宮センター街3丁目 ☎ 391-9006

喫茶 仏蘭西屋
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎ 232-4643

デザート喫茶 ぶどうの木
三宮・フラワーロード(神戸市役所前) ☎ 251-3231

茶パブレストラン デューク・ウエリントン
中央区北長狭通2-6-6 (トアロード) ☎ 332-1125

ウィーン菓子 モーツアルト神戸
中央区布引町2 メゾンロージュ1F ☎ 242-3001

姉妹店・モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 ☎ 251-3616

茶房 ナイル
中央区下山手通6丁目2-7 ☎ 341-7376

喫茶 モンブラン
フラワーロード市役所前KEビル1F ☎ 231-3605

ダイワイン・コーヒー ティック ローテ・ローゼ
中央区北野町4-9-14 ☎ 222-3200

コーヒン カフェ・ド・パリ
神戸ワシントンホテル2F ☎ 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス
中央区北野町2-8 ☎ 222-3535

喫茶 チヤロ
中央区中山手通1-24-10 ☎ 241-5470

★CLUB

c l u b 飛鳥
中央区中山手通1-2-6 ☎ 331-7627

c l u b 小万
中央区東門路中島ビル3F ☎ 391-0638・4386

Member's Lounge 異人坂
中央区北野町2-9-22 (三本松不動北) ☎ 222-2001

c l u b さち
中央区下山手通2-17-13 ☎ 331-7120

ク ラ ブ 千
中央区下山手通2-12-6 ☎ 391-1077

c l u b なぎさ
中央区北長狭通2-11-2 ☎ 331-8626

ク ラ ブ るふらん
中央区中山手通1-3-1 ☎ 331-2854

c l u b Moon Light
Club ☎ 331-0157 BAR ☎ 331-0886・391-2696

c l u b コトブキ
中央区三宮本通り ☎ 331-1875

★STAND&SNACK

レストラン BAR 薔薇屋
中央区北長狭通5-5-22 ☎ 351-4311

サ ロ ン アルバトロス
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

プチシャンソン 音楽の家 E T E T W T O I
中央区三宮町3-8-12 スカイトーアビル3F
神戸トアロード三宮センター街西入口 ☎ 332-1755

Theater pub トム・キャンティ
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F
☎ 331-2122

サウンド イン キャンデー
中央区北長狭通1-21-15 ニューアスカビル3F ☎ 392-3606

スタンド グラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

サ ロ ン 神 戸 時 代
中央区中山手通1-23-10
モンシャウトコブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴオイ
高梁山側 テキの店北 ☎ 331-2615

LOUNGE コリーナード
中央区中山手通1-22-13
ヒルサイドテラス1F ☎ 222-5470

ミュージック・ラウンジ サントノーレ
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 ☎ 391-3822
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F
☎ 221-3886

スタンド 千里
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F ☎ 331-4730

茶 舌 洞 で っ さん
中央区北長狭通1-5-12 ☎ 331-6778

STAND マッシュケナダ
中央区中山手通1-4-6 ユーベルビル4F
☎ 331-5587

メンバーズ モンテカルロ
中央区中山手通1-7-6 ニュー友藤ビル1F ☎ 391-0081

シャングリラ 中山手通1マリンビル1F ☎ 391-8941

グランプリ 中山手通1ニュー友藤ビル1F ☎ 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒 夢 猫
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F ☎ 332-3308

末広光夫の ティファニー
ミュージックサロン 中央区中山手通1-21-13 ☎ 241-1771

Wine and Something 珍地理屋
中央区中山手通1-22-10
大和ナイトプラザ2F ☎ 242-0288

SNACK プチおるごる
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル2F ☎ 332-2680

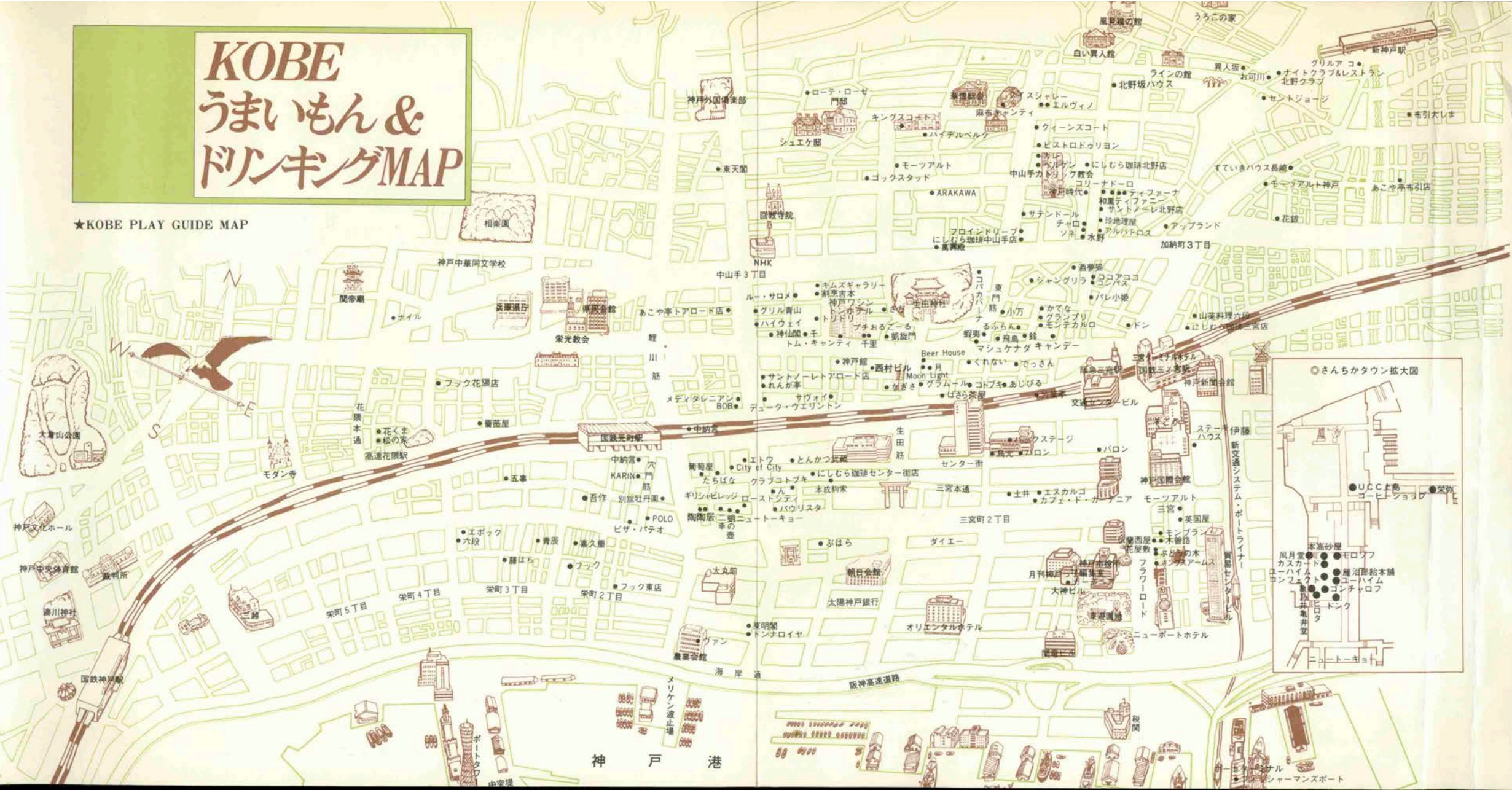
レジャール 西村ビル
中央区北長狭通2-12-10 (生田筋) スーパーステーション
ランダムハウス45rpm 虎造坊 楽珍 エスカイヤクラブ

スタンド かてな
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F ☎ 331-1316

KOBE

うまいもん & ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP



○さんかタウン拡大図



A HAPPY WEDDING



♥ 2人の出逢いは運命的なもの

福本 周市・知栄子夫妻（昭和58年7月31日挙式
於・神戸平安閣）

（神戸市立横尾中学校教諭 垂水区在住）

知栄子さんが代用教師として、彼の勤める横尾中学へ赴任してきたのは2年前の5月のこと。毎週4回、夜9時のジャストコールとクラブ活動の合い間をぬってのデートが実って、ついにゴールイン。中学校の教え子たちの祝福の喝采に包まれて、ハネムーンは白い砂と青い海のエーゲ海・ギリシャへと旅立っていきましました。

総合結婚式場



平安閣

神戸／神戸市兵庫区新開地3丁目2-15

☎ (078) 351-3390

阪神／尼崎市昭和通5丁目182

☎ (06) 413-3303(代)

KOBE HEIANKAKU



HANSHIN HEIANKAKU





・べつ甲

太田べつ甲店

元町一番街山側 ☎331-6195

女性のお洒落にはかせないべつ甲。
ネックレス・イヤリング・ブレスなど
で、魅力な秋に。



・画材・額縁

末積製額

トアロード・大丸前 ☎331-1309

美しい絵の存在は、人の心をも透明
にするものです。どうぞ、「一枚の絵」
をお買い求め下さい。



・建具金物・家具金物・装飾金物・家庭金物

カギヤ金物店

トアロード ☎332-2325

イタリイ製のドア・ハンドル。お取
り付けも簡単で、シンプルなデザイン
があらゆるドアにマッチします。
錠前・シャッターの取付・修理を承ります。



・オーダーメイド・紳士服

アダムG〈岡田巖〉

神戸国際会館3F ☎231-3575

男性のスーツ姿が映える季節です。
あなたのセンスを生かすオーダーメイ
ドで、秋の装いを。



SHOPPING

Swing Swinging in KOBE

街は 今 秋色

10月9日(日) 10日(月), 北野町界隈に於て“神戸ジャズストリート”が開催されます

三宮写真室

トアロード(NHK北隣) ☎241-5530(代)

●お見合写真予約制、ポートレート
心に残る思い出を、一枚の写真に。
あらゆる記念写真をお引受けします。
気軽にお立寄り下さい。



華宝

〒822-2237 瀬区本町4-3-22 ☎822-2237

●ブティック
おかげさまで、今年で一周年を迎えることになりました。秋冬物も入荷しております。気軽にお立寄り下さい。



杏へアンス

●宝石・アクセサリー・バック
センタープラザ1F ☎332-3907

天然素材のネックレス、Diorの
タイピン、あとグッチなどの小物類も
揃っております。



アルテ・サタケ

●ダリのショールーム
元町通シエムビル6F ☎332-1851

サルバドール・ダリの愛着コレクション
有名巨匠の作品を、新しくアート・
インテリアとしてどうぞ。



イタリア料理とカンツォーネの夕べ



MENU

Prosciutto Misto ハムのミックス
Riso Pilaff con i Gamberetti
ピラフ芝海老入り
Coniglio alla Semape 兎のロースト

Legumi Cotti 季節の野菜
Pane パン
Macedonia マチエドニア(フルーツ)
Vino Bianco 白ワイン
Caffè コーヒー

10月のアンナベラ レディスパティのご案内

と き/10月18日(火) 6:30~8:30PM
参加費/5,000円

真木耀子さんのカンツォーネと高柴シェフが腕をふるうイタリア料理で秋の夜長をお楽しみになりませんか。男性も大歓迎、グループやカップルでおこしください。お申込みは、下記宛にハガキで。

〒658 神戸市東灘区御影本町6-11-19
モロゾフ(株) 喫茶レストラン部
Phone (078) 851-1594
(担当/弘瀬・橋爪)



真木耀子プロフィール

国立音楽大卒業後、英国に留学。王立音楽院声楽科卒。カンツォーネシンガーとして活躍中。



料理長
高柴功のプロフィール

イタリアを中心に海外で5年間にわたる修業を経てアンナベラに。多種にわたるレパートリーをご賞味ください。

本格的なイタリア料理が、手軽に楽しめる店

リストランテ“アンナ ベラ”

●ボトル価格

G&G ¥6,000
スーパーニッカ ¥7,000
スコッチ各種 ¥9,000より
生ビール ¥500

●会食
パーティー
70名様

●立食パ
ーティ
100名様

●ワイン各種



●ピアノとバンジョー
の生演奏

◀コース ¥3,500

●JAZZ
AMERICANA
10月19日(水)
6:00と8:30
ボーカル/キャロル・リー
サウスサイドジャズバンド
(予約制)



フレンドリーな
KOBEの夜を
あなたと……

▶ジャズダンスの
高木スタジオKOB
Eのみなさん。
レッスンのあと、
高木こずえ先生
(前列右から3人目)を囲
んで。

●サービス
ディナー
¥2,000より

今年の夏は異例の猛暑で、急な朝夕の
涼しさがかえって身体の変調をきたしたり
します。時にちよつとオシャレをして、
知っている顔に出会わないかなあとブラ
ットしてみたい、そんな人恋しくなる夜
長です。そういった時の一杯のカクテル
は、また楽しいムード作りの主役ではな
いでしょうか?…… 榊 晴夫



神戸ワシントンホテル1F

Theater Pub
Tom Chianti

トム・キャンティ

年中無休

創業 20 年
榊 晴夫

神戸市中央区下山手通2丁目11-5
☎078(331)2122
営業時間/ PM 5:00~AM 2:00
(日曜日はAM 1:00まで)

▼トム風 ¥1,000
牛肉チーズ焼

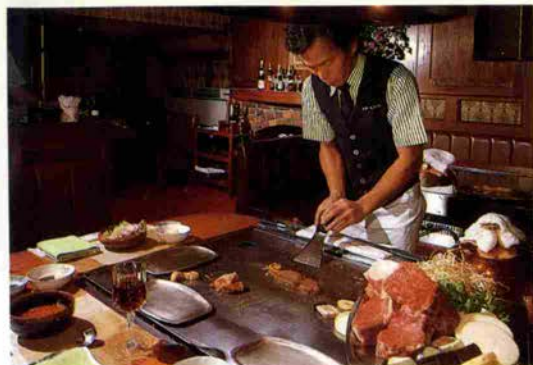


◀カレーセット ¥1,200

●和食メニューも
あります

松花堂 ▶
¥2,000と ¥3,500





世界に誇る神戸肉の風味と車海老・アワビなど魚介類のバター焼。当店が自信をもってお勧めする秋の味覚です。

サーロイン、フィレステーキ(一品・サラダ付) 各¥6,900

車海老、アワビのバター焼各¥4,000



ステーキランドチェーン

STEAK LAND山崎

中央区中山手通 1-7-20 (前川ビル1F) ☎391-3335 5PM~11PM
日曜定休 姉妹店/ステーキランド神戸 ☎332-1787



灘の銘酒・濃鯉と京風の手づくりの味を肴に今宵も一盃。
ママの三味線もオツな味、小宴会、クラス会にどうぞ!

鯉々 新長田店

国鉄・地下鉄新長田駅西口山側サニーアイランドビル2F

☎643-4341 4PM~9PM 日曜休み

三宮店/中央区三宮町2-11 センタービル地下街 ☎332-3776



今月のおすすめ料理 海賊焼き ¥4,900(写真2人前)

伊勢エビ、あわび、さざえ、車エビなどをテーブルの上で石焼きにして召し上っていただく野趣溢れるポリネシアン料理

ロマンチックな港のレストラン



フィッシュマンズ・ポート

ポートライナー・ポートターミナル駅ビル内

☎331-0301~2 月曜日定休



囲炉裏の卓で味わう鍋料理、名物うどんすきも喜ばれる
神戸の味、女性連れ、ご家族でも気軽に寄れるお店です。

肉のしゃぶしゃぶ、うどんすき

江戸屋敷

古もん

中央区中山手通 1-4-11 ニューゲートビル4F

☎331-0673 正午~9:30PM 第1,2,3月曜休

LOVE LETTERS

Love letter straight from your heart. keep us so near while apart.
I'm not alone in the night. When I can have all the love you write.

NIGHT IN KOBE

I memorize every line. I kiss the name that you sign.
And, darnq, then I read again right from the start.



神戸ならではのしゃぶしゃぶの味わいを、異国情緒の中で、存分にお楽しみください。



しゃぶしゃぶの専門店

薔薇絵亭

Baraetei

中央区北長狭通1-9-1 コトブキ三宮ビル4F

☎332-1410 PM5:00~PM11:30



Always Keep Drinking Spirits in Our Life!
Yes, The Drinking is My Way of Life-NOW.

Plano Mail
BACKSTAGE

中央区三宮町1さんプラザ10F サンロイヤル

☎332-0230 第1,3月曜休

Coffee Time 11:00-6:00 Whisky Time 6:00-12:00



梅花短期大学2回生の女の子たち。「サテンドールのチーフが作った特製ミートパイは美味しくて最高です！」

JAZZ & WHISKY HORSE

SATINDOLL

中央区中山手通1 富士産業ビル1F

☎242-0100 無休



高校からの親友4人の中で1番にゴールインした彼女の祝賀会「スベアリブと生クリームハワイアンファンです」

書道家VS詩人対決展「上野賀山&君本昌久」等々

COLONIA COPACABANA

コロニア コパカバーナ

中央区中山手通2 ニューサンコービル(赤い風車のあるビル)2F

☎392-2435



子供にも大人にも、喜ばれるカスカードのパン。お買いものに便利な名谷須磨パティオ店でどうぞ。

パンの歴史をつたえる
カスカード

名谷須磨パティオ店 ☎792-5633



オリジナルカラーフレームが、今好評です。秋のオシャレにあわせてお好きなものをお選び下さい。

メガネ専門店

株式会社



モリカワ

三宮・大丸前トアロード店 ☎391-3164



ステーキの社交場。ワインの香りと肉のうまさに語り合える。神戸のハイソサエティが集うステーキハウス



ステーキ ハウス
伊藤

中央区御幸通 7-1-20 (大信ビル8F)
AM11:30~PM9:30 年中無休 ☎232-3031

Kent
IN
TRADITION
VAN
JAC



VAN KENT SHOP KOBE

神戸市中央区山本通2-14-26
クオタ11号館
TEL 078-241-8207

S
wing
S
winging in
K
O
B
E

RUDOLF VALENTINO

ルドルフ・バレンチノ

OPEN!



ゴージャスなムードの中で重ねるグラスは夢気分。
爽やかな酔が語らいの輪を広げる。
三宮・北野坂に光のストリームが走るとき、
歩大人になった〈ルドルフ・バレンチノ〉で
ときめきの瞬間の流れに
身をゆだねてみませんか。
今宵のロードショーはここに始まる。

バレンチノに冠が輝きます。その光は〈ルドルフ〉
新しい場所で新しい〈ルドルフ・バレンチノ〉の誕生です。
雰囲気も冠の分だけ豪華に装いました。

神戸の新名所、北野坂ゴールドプラザビル4F

各種パーティ、小グループから30人程度
の楽しい集いまで、時間とご予算にあわ
せてご相談承ります。また、6名様以上
のグループには割引をさせていただきます。
リザーブ、レギュラースコッチ
キープ ￥7500



神戸市中央区加納町4丁目7番地4
TEL. 332-5124

